

雜信（一）

種田山頭火

青空文庫

新年句会には失敬しました、あれほど堅く約束していた事ですから、私自身は必ず出席するつもりでしたけれど、好事魔多しとやらで、飛んでもない邪魔が這入って、ああいうぐうたらを仕出来ました、何とも彼とも言訳の申上様ありません、ただただ恐縮の外ありません、新年早 ぐうたらが発揮なんぞは自分で自分に愛想が尽きます、といったところで、ぐうたらは何処まで行ってもぐうたら、何時になってもぐうたらで、それは私の皮膚の色が黒いのおなじく、私の性であります、私自身さえ何うする事も出来ません、有体に白状しますれば私は我と我が身を持ち倦んでいるのです、丁度、気の弱い母親が駄々児の独り息子を持て余していますように、

我に小さう籠るに耳は眼はなくも

泥田の田螺幸もあるらむ

突然ですが、少しく事情があつて当分の間、俳句、単に俳句のみならず一切の文芸に遠ざかりたいと思います、随つて名残惜しくも、皆様と袖を分たねばなりません、今年の子の年ですから、仁木の鼠みたいに、また出直して来るつもりではありませんが、一応お別れします、色々御厄介になりました、皆様、御機嫌よう。

毒ありて活く生命にや河豚汁

一月十八日午前十時

田螺公 謹んで申す

（椋鳥会五句集『河豚』明治四十五年一月）

青空文庫情報

底本：「山頭火随筆集」講談社文芸文庫、講談社

2002（平成14）年7月10日第1刷発行

2007（平成19）年2月5日第9刷発行

初出：「椋鳥会五句集『河豚』」

1912（明治45）年1月

入力：門田裕志

校正：仙酔ゑびす

2008年5月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

雑信（一）

種田山頭火

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>